

旅立ちを  
祝う

平成29年3月11日、  
それまでは寒暖の差の  
激しい日々が続いてい  
ましたが、その日は暖  
かい春風が吹く日とな  
り、平成28年度の卒園  
生を送る「旅立ちの会」  
が行われました。多く  
の人々のお祝いの言葉  
や励ましのなかで、2  
人の卒園生は晴れ晴れ  
とした顔で旅立ってい  
きました。



理事・評議員・後援会の方々と

旅立ちにあたって  
後援会会長  
松井秀文

# 晴香園だより

題字 山本健治先生

## 第30号

発行  
児童養護施設晴香園  
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
電話 047(345)2722  
FAX 047(309)8807  
E-mail: info@s-haruka.org



今年も2人の女子が晴香園から旅立ち、1人は美容専門学校へ、1人は大学の建築学科へと進学しました。2人共早くから美容師になりたい。建築家になりたい。という夢を持っていて、その夢を実現したいと進学先を選びました。ご存知のように児童養護施設の子どもの進学率は20%、全国の高校3年生の平均の75%を大きく下回っています。また進学後の中退者は30%にのぼり、全国平均の3倍近い高さと言われています。

この原因は主に経済的理由によるものです。晴香園では、後援会の皆様の力強いご支援で進学をしたい子どもは（現在までのところ）皆、進学出来ています。

この皆様の支援には子ども達も大変感謝しており、旅立

ちの会の挨拶でもいつも感謝の気持ちを述べています。

今年の東大の発表の時、「夢はこれから考えたい」という合格者のコメントが新聞に掲載していました。私も大学に入った時はそんな感じでした。18歳で自分の方向を決めるのは中々難しい、特に文系の人には何を目指すかが決まっていないことはよくあることです。

一般に就職といいますが、発表される人気ランキングは会社名で職業ではありません。このように世間では就職というより就社が優先されています。勿論、その会社に入って夢を叶えるということはありますが。

これからの子ども達はどういう職業を通して自分のスキルを磨き、人に喜んでもらうか、役立っていかかというところが大切だと思います。そういう点では2人が自分の職業を早くから選択し、我々から見てもその能力にあった選択をしていることには感心しました。

後は、2人が自分のなりた

い夢に向かって勉強と修業をやり続け、そしてやり切ってくれることを期待しています。

森信三先生は、その著書「修身教授録」の中で、「人間というものは、よほど気をつけないと、とかく停滞しがちになります。真の修業とは常に限りなく求める外ないのです。この限りなく求める心を失うことのないよう特に注意しなければなりません」と言っています。

また、森信三先生の言葉に「最善感」という言葉があります。これは「いやしくも我が身の上で起こる事柄は、そのすべてが、この私にとって絶対必然であると共に、またこの私にとつては、最善のはずだ」という意味です。

人は生きていれば楽しいことにも苦しいことにも出会います。ですから私はこの「真の修業」と「最善感」という言葉を2人に送りたいと思います。

後援会の皆様には引き続き子ども達の未来へ温かいご支援をいただけますよう心からお願い申し上げます。

### 卒業生を送り出した 子どもたち

今年の卒園生は2人でした。ホームでは、みんなに慕われるお姉さんの存在だったNちゃん、憧れの美容師になるために、専門学校に進学します。

Mちゃんはしっかり者の優等生。建築士を目指して大学進学が決まっています。

そんな2人を送り出す大事な行事、会場のセッティングは、職員だけでなく、4才から高校2年生までの有志が集まり、紙で作った花や鳥をきれいに飾りつけました。椅子やテーブル等、重い物の移動は中高生が活躍してくれました。

いよいよ当日、卒園生の2人を筆頭に、みんなちよっと緊張顔の中、旅立ちの会が始まりました。理事の方・後援会会長からお祝の言葉をいただき、後援会からは記念品をいただきました。園からは、記念品・花束・ホーム職員手

作りのメッセージアルバムを送りました。アルバムには職員と子ども達からの、たくさんのお祝いの言葉が詰まっています。

そして、晴香園の子どもを代表して、送る言葉を発表してくれたのが、Rちゃん（高1）とKくん（中3）。2人ともこの日のために、たくさん悩みながら手紙を書いてくれました。Rちゃんは、Nちゃんと長く同じホームで過ごしました。今までの思い出と、お別れの切なさが涙になって溢れて、言葉を詰まらせる場面もありました。

Kくんは、本当は大勢の注目を浴びるような目立つ役は苦手中の苦手です。でも、仲良くしてくれたMち

やんのために、つかえながら頑張って想いを伝えてくれました。そんな2人の想いを受け取って、Nちゃんは涙で、Mち



旅立ちの会集合写真

やんは笑顔で、旅立ちの言葉を読んでくれました。

最後に、卒園生2人への、お祝と感謝の気持ちを込めて、全員で「旅立ちの日に」を歌いました。この日のために、練習してくれたMちゃん（中3）の指揮に合わせて、心をこめて歌うことが出来ました。

旅立ちの会の主役はもちろん卒園生ですが、その裏で、送り出す子ども達にとって準備や当日の役割を通して、あるいは会に出席している中で、卒園生に数年後の自分を重ね合わせて、自分の将来について考えたり、思いを新たにすることもあります。子ども達にとつての身近な「数年後のビジョン」である卒園生の言葉や態度が、「希望」に溢れていることは、それ自体が送り出す子ども達にとつての希望にもなります。そして、卒園生が持っている「希望」は、日頃ご支援いただいている皆様の存在があってこそです。改めて感謝申し上げます。

に支えられて、今年も無事旅立ちの会を取り行うことが出来ました。ご出席くださいました、理事・評議員・後援会の方々、中学校・高校の先生方、ありがとうございます。

### 厨房ご飯の リクエスト

毎年恒例となっている卒園生が食べたい厨房ご飯のリクエスト。

Nちゃんは煮物と焼き魚、Sちゃんは辛いカレーライス！ 厨房スタッフが愛情込めて手料理しました。



旅立つ際の見送りにて

## Nさんより

13年間、晴香園を過ごしてきたけどこの13年は長いようで短い時間でした。特にライオンを過ごした初5年間は1コマ楽しく思い出が沢山できました。

学校や遊園地へ帰った時に「たまたま」と言えば「H君やT君が「おめでとう」と言ってくれて、「いってきます」と言えば「S職員さんは必ず玄関まで来て「いってらっしゃい」と言ってくれたし、職員さんは「いってらっしゃい...」と言って最後は必ず玄関を呼んでくれて嬉しかったし、一日が元気で帰りました。それから、帰るとおいしいご飯があったりするもこれから一人暮らしになるともうなくなってしまうと思うとすごく寂しいです。

特に、ライオンを過ごした中で一番とっておきたいのは「T職員さんとO職員さんにはずいぶん配ってくれました。

T職員さんには遊ぶに行くと夜遅く帰らない時が多くなってバイクで色々な場所を捜させたなんてことがたくさんありましたね。中2の時がたぶん反抗期で暴言を吐きまくって傷つけたこともしばしば、それでもいつも気にかけてくれましたね。

晴香園の中では誰よりも一緒に過ごした時間が長かったから、今では何でも話せる大好きな職員です。

O職員さんは、とにかく心配してくれましたね赤ちゃんが出て「最後まで色んなことをあげられなくてごめんね」と言って

くれたり友達とケンカした時は相談にのってくれて、相乗りが遅いと連絡をくれたりして、いつも心配させてばかりいたような気がします。2人には一番感謝しています。

ありがとうございます。

また、後援会の方々には長野や軽井沢の旅行やミラコスタまで普段行けないような所に連れて行って下さったり、4月から行く美容専門学校への支援などをして下さいました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

これからは大変なことや辛いことでもたくさん増えていくけど、元気で美容師になります。

そして晴香園に最後をしっかりと行きます。

13年間ありがとうございます！！

## 卒園生の旅立ちの言葉

## Mさんより

私は、昨年の1月に晴香園に来ました。始めは新しい環境の中で暮らしていくことがとても不安でした。

ここでは毎日ご飯を作ってもらったり、私の話を聞いてくれたり、頼み事を聞いてくれたりして、心の安定にまりました。それから私の誕生日の日、あのふうに誕生日を祝ってもらえたのは初めてでした。とても嬉しかったです。

10月には、千恵協のオセロ大会に参加させていただきました。晴香園では私が初めての参加で、準優勝という結果を残せました。あと少しで優勝だったので本当に悔しかったです。

オセロは私の趣味の中でも特に力を入れている。日本オセロ連盟の大会に何度も出て1級まで取ることができました。

ここはお小遣いが多いのでお金にも余裕ができて友達と遊びに行くこともたくさんできました。富士急や後樂園にも行きました。

越前地なんて小学生ぶりでした。一番身近でお世話になったのはM職員さんです。

M職員さんはユーカリの時、夜みんなが部屋に行ったらあととかによく私に時間をとってくれてお話をしてくれました。

オジャンに行くときM職員さん一緒だったのがとても心強かったです。

こんなに私のことを考えてくれて、褒めてくれたり、心配してくれる大人はなかなかいないと思います。

オジャンでは毎日お販やができました。楽しいこととお金が嬉しいと感じることもありました。

晴香園に来て良かったです。

晴香園の職員さんには本当に感謝しています。4月からは大学に通学します。

私の夢は中学生の時から建築士になることです。

建築士を目指して一生懸命勉強をがんばります。

一人暮らしが始まるので、みんなとさかき私ですが、堕落した生活にならないように嫌いな片付けもちゃんとやるように努力します。これからは母や友人に支えられながら生活をがんばっていきます。

いままでも本当にありがとうございます！！

## ライチホーム 紹介

ライチホームは一言でいうと『憩いの空間』です。玄関を入ると、大きな熱帯魚の水槽が迎えてくれます。なんと、熱帯魚の環境や飼育はすべて高校3年生の女の子が整



憩いの空間

えてくれました。まさにホーム内にオアシスをもたらしてくれています。それに、リビングとダイニングには観葉植物が全部で10種類以上あります。あるとき、小学2年生の男の子が『新しい葉っぱが出てきた。木も生きてるんだね。かわいいね』と言って、大人でも見逃してしまいそうな小

さな喜びを教えてくださいました。

今年度、ライチホームで新たに挑戦したことは『朝食全調理』です。以前は決められたメニューとすでに用意された食材で調理するというものでした。そこで、この機会にあらためて一人ひとりの『好きな食べ物・嫌いな食べ物』『朝ご飯に食べたいメニュー』などを調べ、表にして発表しました。すると、意外と子ども達の好きな食べ物が一緒だったり、和食好き、洋食好き、が一目瞭然となりました。特に中高生女子には、トマトとチーズの『カプレーゼ』が大人気、和食好きな子は『ホットケ』を味噌汁と漬物のセットでリクエストします。

『ライチホーム朝食作り』はライチの『文化』として位置づけられたばかりか、子どもたちそれぞれに『食への関心(食育)』を引き出すことができました。最近では、『舞茸は醤油バター』『カプレーゼのチーズはモッツァレラチーズ』『納豆は欠かさず』とこだわりが出てきました。こ

れからも、ライチでは一人ひとりの個性を活かしながら子ども達と一緒に生活を創っていきたいと思います。



さまざまな観葉植物

## 千児協 マラソン大会に参加

2月5日に行なわれるはずだった千児協マラソン大会は、生憎の悪天候で延期になりました。延期となった12日はとても天気が良く絶好のマラソン日和になりました。

晴香園からは小学生9名が参加しました。練習は3週間ほど行ない、低学年はほぼ毎回参加することが出来ていました。しかし、高学年は中々

部活等で練習時間が合わず、練習に参加する回数がどうしても少なくなってしまうました。

そんな中本番当日を迎え、中には練習が少ないことを悔やみ、レースに出ることを躊躇していた子もいましたが、全員参加することができ、最後まで走りきることができました。

自分がレースに出ない間は、他児の応援を一生懸命している姿もありました。完走後は練習の成果を十分に発揮でき自分の順位に納得する子、練習の成果を発揮できず悔しがる子、もっと練習をしておけば良かったと後悔する子など、様々なことを感じていました。

来年は参加者全員が練習の成果を出せるよう祈っています。



おめでとう!

## ボランティアのご協力 ありがとうございました

### ○学習ボランティア

柴田 和子 田中里奈  
小林 由美子 青柳陽子  
猿渡 英明 井手慶子  
Noel Curry

### ○遊びボランティア

松田 瑞樹

### ○図書室ボランティア

高橋 千尋 湯本 佳子  
口地 美恵子 深山 喜子  
○ピアノボランティア  
石井 美和

### ○習字ボランティア

山本 健治

### ○花ボランティア

NPO法人 Imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸更生保護女性会

### ○誕生日ケーキプレゼント

オペラ座



新規会員ご入会 継続会員費 納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。お名前に誤字、脱字、記載漏れ

がありましてらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。(今号では、平成28年11月1日から平成29年3月31日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます)

(敬称略・順不同)

【新規会員】

- 藤塚 光慶 ナカムラタロウ
藤田 栄司 オオタニサトル
小川 工務店 高橋多美恵
木下 英介 カンダタカヨシ
中筋 賢治 黒田 静江
東野 大祐 栗原 英司
細川 貴子 天野 勝美
小川 さち 片石 朋子
石井 理恵子 上遠野 ヒメ子
上遠野 真 今津 好正
原久美子
(株)東葛ヘルトゴム商工

【継続会員】

- (株)ライズ 文入 加代子
猿渡 英明 加藤 康成
レイクチャールズ&聖衣子

(株)ユーライフ 段下 裕貴

- 藤永 健二 宇高 和子
武藤 悟司 藤田 亜子
根岸 政国 岡田 安生
加納 眞利子 宍戸 一陽
松戸 友の会 石川 琢哉
小嶋 祐司 土屋 供生
小山田 美和子 墳崎 敏之
梅本 真行 木元 淳平
森 朋子 福田 眞
竹中 加津枝 湯本 壬喜枝
浅井 利明 (有)シヨセ
藤竹 晶子 金子 公子
ベストビルサービス(株)
代表取締役 柴野 太郎
(株)山野辺建設 片石 朋子
須藤 孝子 森 勇樹
渡部 尚英・直美

「晴香まなび基金」へのご寄付 ありがとうございます

- 加藤 康成 ヒロヤマミチコ
レイクチャールズ&聖衣子
藤田 亜子 汐留 会
タカムラ マナブ 佐々木 瑞江
島根 明 浅井 利明
カンダタカヨシ 石山 智
アオキ ミキ 中筋 賢治
野呂 佐知子 野呂 和子

心温まるご厚志 ありがとうございます

- 金子 公子 平澤 由美子
座間 伸江 細川 貴子
天野 勝美 黒田 静江
宇井 ひさ江 トヨタ アキラ
若田 部 君子

- ミスターパチンコ流山店
ほつともつと
松戸遊技業防犯組合
セカンド・ハーベスト・ジャパン
山崎製パン松戸工場
従業員組合 松戸支部
全国シヤンメリー協同組合
日本鏡餅組合
毎日新聞東京社会事業団
(株)
(株)インテリア計画
東京電力パワーグリッド松戸
(株)チュチュアンナ
(有)カサヤ防災システム
マルハン松飛台店
ピーポケット
フィリップモリス
千葉西総合病院
アパマンショップネットワークプロ
モーション企画部プロモーション部
COC代表取締役 浦野 寛忠
わたの 実
サービス管理責任者 山本 昌幸
(株)ブルボン
代表取締役社長 吉田 康
アゼリーグループ 理事長 来栖 宏二

- 特定非営利活動法人 次代の創造工房 理事長 秋沢 志篤
メルセデス・ベントツ葛飾
(株)シユテルン葛飾 次長 沢田 浩
タイガーマスク初号機
根木内中学校教員の皆様
日本教文社
アサヒ飲料(株)
(株)オランダ家
聖光ヶ丘病院
七草の会代表 藤山 みき子
エムトレーディング(株)
松戸市中央倫理法人会
会長 木村 健二

- フードバンク千葉
パン工房 アトリエメール
千葉家庭裁判所 松戸支部内
千葉少年友の会 松戸支部
松戸市総合政策部政策推進課
柏レイソル選手会
(有)ダスカジャバンクアウトモック
宝酒造田んぼの学校事務局
ファークス
成田 尚美 小倉 マリ子
日向 恵子 工藤 幸二
藤竹 晶子 菅原 靖博
加藤 政子 我妻 美根子
立川 芳枝 白鳥 幸志
田原 加奈子 牧野 英美子
鈴木 みさを 海老原 征志郎
岩崎電気管理事務所
(株)ミニマル
日本国際ボランティアセンター
平野 将人

- 麗澤中学・高校 担当 重松 雅治
医療法人社団 聖秀会
聖光が丘病院
市川市社会福祉協議会
成田市社会福祉協議会
松戸市社会福祉協議会
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
我孫子市社会福祉協議会
流山市社会福祉協議会
(有)エヌ・ハウジング 取締役 中島 進吾
雪和食品(株) 齋藤 義雄 東 秀隆
三原 立子 田中 敏和
樋口 晴彦 市川 吉也
山口 康介 浮谷 俊行
土屋
サクライヒロユキ カトウヤスナリ
ワタナベマサト トリイダイスケ
ハシモト サンタのおばさん
(株)フォーバル 須藤 勝
竜友商事(株) 松井 秀文
宮本 まゆみ 野田 恵子
藤本 いつお 板橋 君江
豊島 敬子 裕 和子
藤田 栄司 山尾 ひとみ
中村 康子 秋濱 里穂子
東 絵里奈 白鳥 幸志
飯盛 佐和子 柴田 佳代
厨英彰・恵理子 霜田 啓子
岩橋 金子 安藤
柘野 坂下 海田
匿名 4名

# 子どもたちとの交流会のお知らせ

お食事をしながら、子どもたちと楽しい親睦タイムを企画しています。  
皆様ぜひお誘いあわせの上で参加ください。

日時：平成29年5月13日(土) 11:30～13:30

会場：ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣

(旧名 ナブシャルズ南柏) TEL:04-7146-2222

参加費：後援会員2,000円

内容：晴香園の子どもたちと会食しながら、バイオリニストとギタリストの  
すてきな演奏をお楽しみいただきます。  
正装・着席スタイルで行います。



## ご出席のご連絡のお願い

交流会にご参加をいただける方は、事前にご連絡をお願いいたします。

申込期限：平成29年4月28日(金)

電話：047-345-2722

## ご寄付のお願い

### まなび基金へのご寄付について

千葉銀行… 小金原支店(042)  
口座番号… 普通 3580945  
口座名… 晴香園後援会  
晴香まなび基金

### 後援会へのご寄付について ※法人会員 年会費5,000円以上、個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行… 新宿西口支店	もしくは
口座番号… 普通 4645936	ゆうちょ銀行 … 口座記号と口座番号
口座名… 社会福祉法人 晴香	00120-4-356622
晴香園後援会	加入者名… 晴香園後援会

※寄付金に関する詳細は、下記にお問い合わせください。

〒270-0011 千葉県松戸市根木内145 社会福祉法人 晴香 TEL.047-345-2722 FAX.047-309-8807 E-Mail:info@s-haruka.org



広報担当 會川・大塚

先日、ある男の子が「これからは自分で洗濯物を干す」という宣言をしてきました。彼もまた様々な失敗を繰り返しながら成長してきた一人です。その小さな取り組みも、将来大きな財産となると考え支援していきたいです。

先日受けた研修で「失敗できる環境」の重要性を聞きました。子どもたちが園にいる間は、物やお金、人などの環境が整っておりやり直しが効きますが、社会に出てからはやり直しも容易ではありません。園にいる間に、どれだけ失敗をし振り返りを行ない試行錯誤できたか、それを自らの財産とできるのかがとても重要であると感じました。子どもたちの失敗する機会、失敗を乗り越える作業を職員として意識していきたいと思えます。

今年度もまた終わりに近づき「あっとという間の一年」だと切に感じます。

編集後記

